

号外！次は8月。初組み合わせの、この二人。

第38回 「佐世保かっちゃって落語会」

瀧川鯉昇・古今亭菊之丞

それぞれ二席ずつ、たっぷりと。

上記のキャッチコピーで「二席ずつ」と書きましたが、「落語をひとつ口演すること」を「一席」と表現しますので、今回は人気・実力ともにトップクラスの鯉昇師と菊之丞師が、それぞれ落語を二つずつ、計四つの落語を聴かせてくれます。この料金で！値上げラッシュの昨今ながら初回以来15年間値上げもせずに！

最近では地方でも日帰り公演が多く、二人会の真打でも一席ずつの会もあるようですが、私たちの会では必ず一泊していただいているので、帰京の時間を気にせずに、二席ずつ、じっくりたっぷり口演していただき、お客様方にもじっくりたっぷり本物の話芸を堪能してもらえるようにしています。

この料金で！値上げラッシュの昨今ながら初回以来15年間値上げもせずに！・・・「何度も言うな！」でしょうが、言いたくもなりますよ。だって、こういう二人なんですから。

瀧川 鯉 昇：1953年生まれの72歳。いかにも落語家らしい風貌や古典落語の中にはさむナンセンスギャグなど、その飄々とした軽いおかしみのある高座は現在もっとも落語本来の楽しさ、面白さを伝えてくれる貴重で希少な存在である。登場してからしばし無言の間（ま）があり、その表情だけでも笑えると、佐世保でもファンなった人は多い。一度聴いたら気になって、二度聴いたら癖になり、三度聴いたら抜けられない脱力爆笑系の不思議な芸風でありながらも、文化庁芸術祭優秀賞受賞など、その表現力の確かさは高く評価されている。

古今亭菊之丞：2003年に異例の単独真打昇進を果たした実力派であり、その名の通り風貌は歌舞伎の女形か、大店の若旦那のようであり、今では数少なくなった江戸っ子気質の噺家である。芸術選奨文部科学大臣新人賞などを受賞し、古今亭の正統派落語を受け継ぎながらも、その独特の粋と艶っぽさがある高座は非常に高く評価されていて、この会でも初出演以来、その面白さに熱烈なファンが増えている。

どうです？次回の佐世保かっちえて落語会は、芸風も所属団体もちがう両師匠が初めて、がっぷりと四つに組んで、たっぷり二席ずつ、じっくりと聴かせてくれるんですよ。こりゃ楽しみですよね。さらに、前座はいつものように我が故郷の子供たちが“地産地笑”の創作落語を披露します。子供たちが、一流の噺家たちと同じ高座で落語をやるなんて会があるのは、全国でも佐世保だけです、たぶん。あぁなんて待ち遠しい会なんでしょう！あぁなんて予約したくなる会なんでしょう！笑う門には福来る、笑顔の人には幸来る。次回も、会場でお会いいたしましょう！

(文責・海老原靖芳)

2025年8月30日(土)

開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

指定席 大人：2,500 円・小中高生：1,000 円

※ 全席指定席となっております。

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局

〒857-1174 佐世保市天神 3-2702-4 Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

-----切り取り線-----

◆ 指定席 大人()枚・子供()枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____ , _____